

<現状認識>

くまもと新時代共創基本方針	地方創生2.0基本構想（令和7年6月13日閣議決定）
第1章 本県を取り巻く環境変化 ・人口の動向 ・半導体関連産業の更なる集積 ・海外との交流の加速化 ・災害からの復旧、復興、災害に強い県土づくり ・デジタル化の進展 ・SDGsの浸透	第2章 地方創生をめぐる現状認識 3. 地方創生をめぐる社会情勢の変化 ・人口減少（地方の人手不足） ・若者や女性の地方離れなど ・インバウンドの増加 ・AI デジタル技術の急速な発展

← 人口減少への強い課題認識に加え、インバウンドの増加、デジタル技術の進展の着目

<地方創生の考え方>

第4章 取組みの基本的方向性 1 こどもたちが笑顔で育つ熊本 2 世界に開かれた活力あふれる熊本 3 いつまでも続く豊かな熊本 4 県民の命、健康、安全・安心を守る	第3章 地方創生2.0の起動 1. 目指す姿 (1)「強い」経済 (2)「豊かな」生活環境 (3)「新しい日本・楽しい日本」
--	---

← 自立的・持続的な経済と、安心して暮らせる生活環境により、一人一人が幸せを実現できる地方を実現

< 施策の方向性 >

くまもと新時代共創総合戦略

第1章 施策の推進

1 こどもたちが笑顔で育つ熊本

- ・ こども・若者がキラキラ輝く社会づくり
- ・ 家庭や子育てに夢を持てる社会づくり
- ・ 質の高い教育・未来を担う人材の育成

2 世界に開かれた活力あふれる熊本

- ・ 「くまもとで働く」人材の確保・育成
- ・ 世界に伍する産業拠点熊本の創出
- ・ 「食のみやこ熊本県」の創造
- ・ スポーツ、観光、文化芸術の振興
- ・ 交通の利便性向上

3 いつまでも続く豊かな熊本

- ・ 豊かな自然の保全
- ・ 移住定住、関係人口創出
- ・ 魅力ある地域づくり
- ・ 社会の多様性

4 県民の命、健康、安全・安心を守る

- ・ 「緑の流域治水」を核とした創造的復興
- ・ 災害に強い県土づくり（防災力、インフラ整備）
- ・ 健康で長寿な社会の実現
- ・ 安全・安心の地域づくり
- ・ 水俣病問題への対応

地方創生2.0基本構想（令和7年6月13日閣議決定）

第3章 地方創生2.0の起動

2. 地方創生2.0の基本姿勢・視点

(1) 人口減少を正面から受け止めた上での施策展開

- ・ 人口減少下における社会経済の対応策
- ・ 住民生活、公共サービスの維持
- ・ インフラ整備

(2) 若者や女性にも選ばれる地域づくり

- ・ アンコンシャス・バイアス等の意識改革
- ・ 魅力ある職場づくり
- ・ 若者や女性が活躍できる地域づくり

(3) 異なる要素の連携と「新結合」

- ・ 地域ポテンシャルの高付加価値化
（食、伝統産業、自然環境、文化芸術）

(4) AI・デジタルなどの新技術の徹底活用と社会実装

- ・ AI、デジタル、ドローンなどの活用と社会実装

(5) 都市・地方の共生関係の強化と人材循環の促進

- ・ 関係人口による人・モノ・技術の交流循環
- ・ 分野を越えた連携

(6) 好事例の普遍化

← **くらしの安心、地域ごとの付加価値創出型経済、地域間交流、新技術の活用等により地方創生を実現**